

新たな評価導入に係る事故分析

死亡と重傷の重み付けの見直し調査

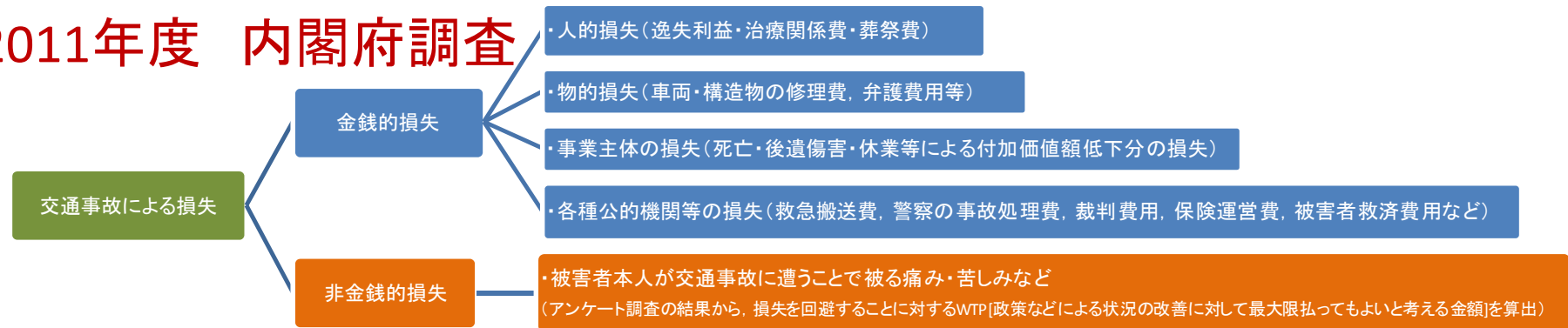
現行アセスメントの死亡・重傷比率

単位: 万円

	死亡	重傷	頸部 後遺障害	重傷を”1”とした場合 の死亡の比率	備考
衝突安全 [#]	3102	807	408	3.84	死亡: 平均人身損失額(91' 自賠責統計 & 医療統計) 重傷・軽傷: 2007年度の自動車保険データ
予防安全	3000	800	-	3.75	内閣府: 交通事故の被害・損失の経済的分析に関する 報告書(2007年3月)の人的損失額

傷害部位別の重み付けについては、総合評価(2000年)から変更なし。

2011年度 内閣府調査



単位: 万円

	死亡	後遺傷害*	傷害	重傷を”1”とした場合 の死亡の比率	備考
人的損失	2832	786	56	3.60	内閣府: 交通事故の被害・損失の経済的分析に 関する報告書(2012年3月) [被害者1名あたりの交通事故による損失額 (2009年)]
金銭的損失	3152	967	162	3.26	
非金銭的損失	21300	859	24	24.80	
総計	24452	1825	186	13.40	

* 国交省におけるこれまでの検討では、後遺傷害≒重傷と置き換えている。

乗車位置別の分析による効果予測結果

試験形態	衝突部位	傷害部位	分析対象				算出根拠(仮定)	傷害程度	現NCAP 低減分 (A)	改定後の 低減分 (B)	事故低減 数 (A+B)	内閣府 比率*1 (割合:%)	新旧割 合	現行 割合*3	
			ベルト	運転席	助手席	後席									
フルラップ 前面衝突試験	前面+ (左右前)*0.5	全	着用	○	○	○	・H22調査報告書を参照し、FRB:ODB=50%:50%とした。 ・JNCAP改定後については、高齢者対策(胸部閾値を厳しく)により、高齢者の死亡率(重傷率)が成人並みに低下すると仮定。	死亡	38	73	111	28(21%)	59%	14.5%	
オフセット 前面衝突試験								重傷	390	556	946				
側面衝突試験 (MDB)	右側+左側 (左右前)*0.5	全	全	Near	Near	-		・本試験は、(軽)乗用車では法規とJNCAP導入がほぼ同じ年であることから、(軽)乗用車については、 [法規低減分]:[JNCAP低減分]=50%:50%とした。 ・JNCAP改定後については、現行JNCAP効果(車両相互事故の低減率:50%)がAE-MDBの導入等により、さらに半減すると仮定。	死亡	24	44	69		19(15%)	12%
									重傷	349	358	708			
後面衝突 頸部保護試験	後+ 左右後	頸部	全	○	○	-	・H22調査報告書から、頸部軽傷の1.38%が後遺障害(神経系統で14等級)になるとのデータがあることから、軽傷の1.38%を重傷に加えた。 ・基準は未だ導入されていないことから、 [全車未対策]-[全車JNCAP対応]=[JNCAP低減分] ・JNCAP改定後については、試験法改定の予定がないことから、JNCAP普及による効果のみを考慮。	死亡	0	1	1	2(2%)	48%	7%	
								重傷 +軽傷 (後遺障害)	10	132	142				
歩行者頭部 保護試験	前面+ 左右前	頭顔	○	-	-	-	・法規対応は、法規値×0.8(HIC:1342)と現行NCAP(03'-09'年度)の平均値(HIC:1069)の比率をもとに死亡重傷率を試算。 ・改定後予測は、2015年度のJNCAP平均値(HIC:657)と現行NCAP(03'-09')の平均値(HIC:1069)の比率をもとに死亡重傷率を試算。	死亡	59	205	264	48(37%)	48%		
								重傷	36	359	395				
歩行者脚部 保護試験	脚部	○	-	-	-	-	・法規対応は、法規値×0.8(Tibia:272,MCL:17.6)と現行NCAP(11'-年度)の平均値(Tibia:230.6, MCL16.7)の比率をもとに死亡重傷率を試算。 ・改定後予測は、2015年度のJNCAP平均値(Tibia:230.6, MCL16.7)と現行NCAP(11'-年度)の平均値(Tibia:203.3, MCL:14.8)の比率をもとに死亡重傷率を試算。	死亡	3	2	5				
								重傷	22	192	214				
PSBR	前面+ (左右前)*0.5	全	非着用	-	○	○	・シートベルト非着用者がSBR装備することで50%の人がシートベルトを着用すると仮定。	死亡	40		40	5(4%)	4%		
								重傷	271		271				

*1: 内閣府比率(死亡:2億4452万円, 重傷1825万円)を用いて、1点=16億円とした場合の低減効果。

*2: 内閣府比率にした場合の得点割合(後席シートベルトリマインダを除く)

*3: 現行得点の試験形態別の割合(後席シートベルトリマインダを除く)